

17 第3次中期財政計画の進捗状況

第六次総合計画を踏まえ、中期的な財政規律を定めることにより、財源の効果的な配分と財政の健全性を維持するため、平成29年度に第3次中期財政計画（計画期間：平成30年度～令和4年度）を策定しました。

令和元年度の実績は次のとおりです。

1 令和元年度の収支状況

（単位：億円）

	収入	支出	形式収支
計画値	959.4	954.6	4.8
実績値	1,003.4	981.5	21.9

収入は、前年度繰越金（計画値＋18.0億円）や市税（計画値＋8.5億円）のほか、幼児教育・保育の無償化に伴い子ども・子育て支援臨時交付金が創設された地方特例交付金（計画値＋8.5億円）や、大泉寺地区企業用地整備事業特別会計廃止等に伴う繰入金（計画値＋8.0億円）などの影響により計画値を44.0億円上回りました。なお、市債については、将来負担の抑制の観点から一部の市債の発行を見送ったことなどに伴い、計画値を下回り（計画値△1.1億円）しました。

支出は、維持補修費が計画値を下回った（計画値△1.8億円）ものの、普通建設事業において、小中学校の改修工事や熊野桜佐土地地区画整理事業等が計画値を上回る（計画値＋16.2億円）とともに、積立金においても計画値を上回った（計画値＋7.7億円）ため、全体で計画値を26.9億円上回りました。

2 目標達成への進捗状況

① 計画期間中の実質収支の黒字を維持

【実質収支】

（単位：億円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績値	17.8	20.3			

※実質収支とは、「収入－支出」から「翌年度へ繰越すべき財源」を控除したものです。

② 全会計における市債残高の100億円削減

【市債残高】

（単位：億円）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	削減額
実績値	1,387	1,387	1,345				42

③ 財政指標の維持

【財政健全化判断比率】

（単位：％）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
将来負担比率	44.5	33.2	25.4			
実質公債費比率	4.6	4.2	4.4			